



平成 17 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社メガネトップ
代表者名 代表取締役社長 富澤昌三
(コード番号 7541 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 高柳正雄
(TEL. 054 - 275 - 5000)

業績予想の修正及び固定資産の減損に係る会計基準の適用に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成 17 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期中間(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)の業績予想の修正及び「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う特別損失の計上について下記のとおりお知らせいたします。

記

業績予想の修正

1. 平成 18 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,000	430	260
今回修正予想(B)	15,673	135	900
増減額(B-A)	327	565	640
増減率(%)	2.0	-	-

2. 平成 18 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	11,400	300	180
今回修正予想(B)	10,381	231	823
増減額(B-A)	1,019	531	643
増減率(%)	8.9	-	-

3. 修正の理由

当中間期における連結の業績につきましては、当社グループの中核であるメガネトップ単体における業績の修正を主な要因として、売上高、経常利益及び当期純利益ともに予想を下回る見込みであります。

メガネトップ単体においては、期初より新たな企画を実施しましたが、期待する成果を得られず、期半ばより「より良いものをより安く」という創業来の基本姿勢に立ち戻り、改めて取り組みを強化した結果、期後半には客数は増加に転じましたが、中間期を通しての売上高の回復には至りませんでした。

利益面につきましては、諸経費は計画内での運用となりましたが、販売価格帯の見直しなどにより売上総利益率が計画を下回り、経常利益、当期純利益とも予想を下回る見込みであります。

なお、通期の連結及び個別の業績予想につきましては、11月22日の中間決算発表時に公表する予定であります。

・「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う特別損失の計上

当社グループは「固定資産の減損に係る会計基準」を平成18年3月期中間期より適用することとし、当社グループが所有している固定資産について減損処理を行い、減損損失額として連結では834百万円、個別では741百万円を特別損失に計上する予定であります。

以 上